

## メッセージアウトライン

### ガラテヤ 3：10~14「のろいからの解放」

「律法の行ないによる人々はすべて、のろいのもとにあるからです」(10) 神から与えられた律法、さまざまな戒めを守り行うことによって神の前に義と認められようとする人々がどうしてのろいのもとにあるのか。そこでパウロは旧約聖書の申命記 27:26 を引用する。「律法の書に書いてある、すべてのことを堅く守って実行しなければ、だれでもみな、のろわれる」

仮に 1,000 のうち 999 の戒めが守れても、ただ一つ守れなかったならばのろわれるのである。そして人間のうち誰一人として、神の律法を完全に守り行い、神に義と認められた人などいない。アダムとエバの墮落以来、人間は罪の性質を持ち、自分の力で神が与えてくださった戒めを守ることができなくなっているのである。ではどうすればよいのか。パウロはハバクク書 2:4 から「義人は信仰によって生きる」を引用して、「律法によって神の前に義と認められる者が、だれもいないということは明らかです」(11)と語る。つまり人が救われるのは律法ではなく信仰によるのだという。すでにこのことが旧約時代にはっきりと教えられていたのである。

「律法を行なう者はこの律法によって生きる」(12)これはレビ 18:5 の引用である。しかし罪ある人間にはこれを行うことができないというのが現実である。

「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖いだしていただきました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである。』と書いてあるからです」(13)

「木にかけられる者はすべてののろわれた者である」これは申命記 21:23 からの引用。イエス・キリストはまさに木(十字架)にかけられたのである。神のひとり子イエス・キリストは、私たち罪ある人間が当然受けなければならない神の刑罰としてののろいを十字架にかかって身代わりとして受けてくださったのである。そしてそのことによって私たちを律法ののろいから解放して下さったのである。ここに神の愛がはっきりと表されている。

「このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです」(14) 神のアブラハムへの祝福は今やイエス・キリストによって異邦人、つまり全世界の人々に及んでいる。信ずる者は誰でも救われ、神が約束された聖霊を受ける。この聖霊の力によって私たちは力強く、喜びと確信を持って信仰の歩みを続けていくことができるのである。